研究テーマ設定①②

取り組みたいテーマ・問題の選択（個人）

課題解決の基本プロセス

問題の発見	現状どのような問題があるか洗い出す
問題の選択	どの問題から取り組むかを選ぶ
問題の理解	現状や理想を整理し、その問題について理解する
課題設定	範囲や抽象度なども明確にし、課題を定義する
解決策の立案	解決策の可能性を探る（拡散思考）
解決策の選択	どの解決策を採用するかを選ぶ（収束思考）
実行と評価	実際に解決策を試し、有用性を確認する

ブレインストーミング

アイデアを出すための最も一般的な方法です。

ブレストのルール

①質より量（思いついたら、どんどん書く）

②議論しない・否定しない（ダメなアイデアはない）

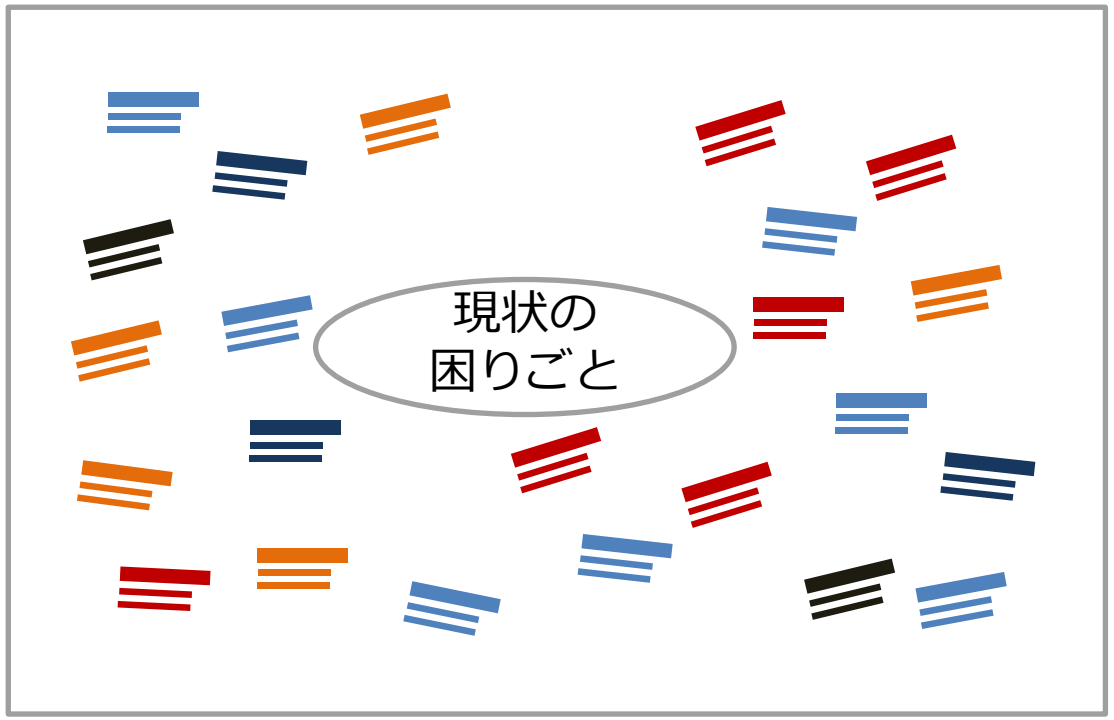
③書いたら言う・言ったら書く（全員ペンを持つ）

④便乗大歓迎（他の人のアイデアを活かす）



問題の洗い出し

ブレインストーミングをつかって
現状「困りごと」と感じるものを出してください。
不満・不足と感じるものであれば、何でも構いません。





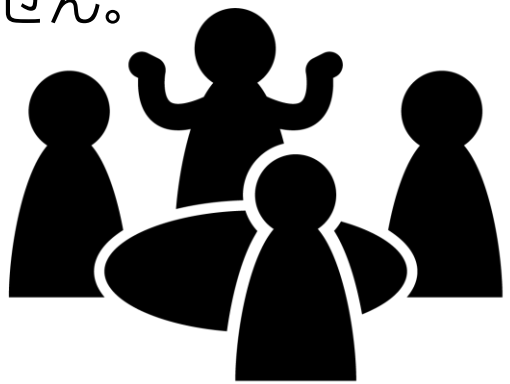
問題の選択

ブレインストーミングで出した問題を分析していきます。

まずは、グループで以下の視点ごとに2票ずつ（合計6票／人）
投票してみましょう。

意義が大きいと思う　⇨ ○
解決できる見込みが高そう　⇨ ＃
興味がある　⇨ ☆

※記号はグループ内で統一されていれば他の記号でも構いません。



問題の選択

グルーでの投票を元に自分の「取り組みたい問題」を決めましょう

※自分のグループだけでなく、他グループの成果物を利用してもよい

以下の流れで進めましょう。

①おおまかで良いので取り組むテーマ・領域を決める　例：ゴミ問題

②具体的な問題を決める　例：〇〇にゴミが散らばってる

問題の"大きさ"調整

いくつかの候補の「問題の大きさ」を調整してみて

ちょうど良いものは何か考えてみましょう。

例

世界の食糧問題　→　大きすぎるな…
自分がフードロス　→　小さすぎるな…

飲食店におけるフードロス　→　ちょうど良さそう



サブ問題への分解

設定した問題への理解を深めます。
その問題全体をいくつかの部分（サブ問題）に分けてみましょう。

メイン問題とサブ問題

メイン：レストランでフードロスが多い

サブ：仕込み量が消費量よりも多い
：予約キャンセルや来店数の変動がある
：特定の食材だけ使い切れない場合がある
：お客さんが食べきれずに残してしまう



研究テーマ設定③④

グループによる研究テーマの設定

グループによる研究テーマの設定

この2コマを使って、下記を行なってください。

①近いテーマ（問題）に関心を持っているメンバーで集まる

※見つからない場合は、先生のサポートをもらいましょう。

②そのグループで取り組む具体的な問題を1つに絞る

環境問題 → ゴミ問題 → ○○にゴミが散らばってる